

三浦市議会議員（無所属）

# いしざき 遊太

ゆうた



編集・発行 石崎 遊太 / 令和6年11月発行 / 南下浦町上宮田1422-4 / 080-4733-4115

## 新しい命を授かって

9月定例会の会期中に、元気な男の子が産まれてきてくれました。やんちゃ盛りな1歳の娘の育児に追われながらここまで頑張ってくれた妻には、感謝してもしきれません。また、会期中に出産予定日を迎えることに対して、議会関係者の皆様には多大なるご配慮を賜りました。この場をお借りしてあらためて御礼申し上げます。二児の父として、より一層身の引き締まる思いです。



我が子はもちろん、全てのみうらっこに恥じる事のない政治活動を行っていくことをここに誓います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

## 駅立ちを再開します！



息子の新生児期間である約1か月間、朝の育児に専念するために駅立ちを中止していました。11月より再開しますので、お気軽にお声がけください。毎週水曜日の朝7時～8時、三浦海岸駅にてご挨拶しております。（雨天時は中止or延期）

### PROFILE -プロフィール-



# いしざき 遊太

HP、各種SNSなどはこちらからどうぞ！！  
過去のみうラボReportもHPにアップしています。



1991年4月生まれの33歳。幼馴染の妻とともに、娘(1歳)と息子(0歳)の子育てに奮闘中。  
上宮田小羊保育園→上宮田小学校→南下浦中学校→県立横須賀高校→慶應義塾大学総合政策学部卒。  
2022年7月に約7年間勤めた大手食品メーカーを退職し、三浦市へUターン。地域活動に取り組む。  
2023年4月の市議会議員選挙にて、1960票の得票を賜り当選。



### 材料



※パスタソースで4～5人前分

☆	ニンジンの葉	60g
	オリーブオイル	60g
	くるみ	20g
	粉チーズ	30g
	にんにく	2かけ
	塩	適量

### 作り方

1. ニンジンの葉は茎を除いて洗い、水気をとる
  2. ☆をフードプロセッサーでペースト状にする
  3. 塩を少しずつ加えて好みの塩味に仕上げる
  4. パスタの他、お好きな料理にたっぷりを使う
- 炒めたエビとジャガイモに加えたり、タコとアボカドと和えて冷菜として食べてもGood!!

みうラボReportをもう少しカジュアルに楽しんでもらおうと、僭越ながら趣味の料理コラムを取り入れてみました。

三浦ではそろそろ葉がついたニンジンが出回る季節ですから、手に入ったらぜひ作ってみてください。上の写真はこのペーストをイカと黄色のズッキーニと合わせたパスタです。ジェノベーゼは松の実を使うのが一般的ですが、くるみの方が気軽に作れます。分量は結構アバウトでも大丈夫です。



## みうらみらいラボ 会員募集中

みうらみらいラボは、代表であるいしざき遊太との対話を行いながら、会員同士で『三浦の今と未来について考え合う』ための政治団体です。詳細および入会のお申し込みにつきましては、右の2次元コードよりご確認ください。ご連絡いただければ紙の申込書もお届けします。



## 質問の全体像

私が行った令和6年第3回定例会における一般質問の項目は、下記のとおりです。

### 1. 子育て政策

- (1) 少子化の現状と今後
- (2) 支援の枠組みと方向性
- (3) 個別施策の取り組みと課題

### 2. 行政運営のガバナンス

- (1) 行政評価の実施状況
- (2) チェルSeaみうらの整備と今後

今回の質問と答弁の合計時間は、1時間13分ほどとなりました。実はいつ妻の陣痛が来てもおかしくない状況でしたが、気持ちを切り替えて登壇し、思いの丈をぶつけました。（結果的に陣痛が来たのはこの日から約10日後のことでした…）

発言の全文については、私が文字起こししたものをブログに見やすく掲載しております。下記の2次元コードからご覧ください。こちらの資料ではそれぞれの項目について、私の質問の意図や要望の概要をわかりやすく整理したいと思います。



こちらの2次元コードより  
発言全文をご覧いただけます



いしざき遊太 一般質問

## 子育て政策

これまで何度も取り上げてきたテーマですが、まずあらためて確認したかったのが、三浦市の子ども・子育て世代に絞った人口動態と、それに対する行政の課題認識です。平成29年に示された第4次三浦市総合計画における令和7年の年少人口（15歳未満の人口）の目標値は3,700人ですが、直近の数値で3,067人となっており、既に計画値を下回っています。市として可能な限りの子育て支援を展開したものの、この減少に歯止めをかけられていない旨の答弁がありました。少子高齢化が進む今、日本全体として人口が減少する傾向は避けられませんが、自治体ごとの社会増減（転入人口と転出人口の差）が改善できるか否かについては、それぞれの自治体施策の腕の見せ所と言えるでしょう。今回の質問で、三浦市は若年層（15～34歳）に絞った人口の社会減が食い止められていないことに加え、有配偶率や合計特殊出生率も県内平均と比べて非常に低いことが明確になりました。こうした事実から、**三浦市の子育て支援施策にはまだまだ改善の余地がある**ことがわかります。この危機感を共有した上で、現状の施策と今後について議論を深めました。

■ 三浦市15～34歳人口の社会増減推移 ■



少し長い期間で見ると改善の兆しも…？  
プラスに持っていけるかは、今後の取り組み次第です。

支援の大きな枠組みについては、新しい取り組みである**こどもまんなか市民会議と子育て支援・こども応援ネットワーク事業**について触れました。どちらも本当に必要な行政支援のニーズを探る上で重要なものになってくるため、各種要望を上げました。

個別施策についての指摘については、多すぎてここではまとめきれません。市内に産科がない本市において安心して出産が行える移動支援はもちろん、出産後も共働きがしやすい環境の構築は急務です。同時に、**この課題感**は**子育ての当事者でない見えにくい部分**でもあります。今まさに子育てに向き合っている市議として、今回の要望も投げかけて終わりにせず、しっかりと追ってまいります。

### 発言の中での主な要望

1. 有効な土地活用について国・県との折衝
2. 子育てアンケートのオンライン回答対応
3. こどもの意見集約と反映の継続・改善
4. 子育て支援団体同士の交流活性化
5. 妊産婦タクシー助成事業の効果検証
6. 陣痛時に安心して使える移動支援の確立
7. 産後ケア事業の使いにくさの改善
8. 独立した一時預かり施設の確保
9. 病児・病後児保育事業の拡充

## 行政運営のガバナンス

ガバナンス(governance)とは直訳すれば統治や支配、管理という意味ですが、今回の質問では『行政組織が健全な運営を行うための仕組みや体制』の意味で使用しています。

冒頭で、本市における行政評価、すなわち行政の打ち出す各事業がどのようなプロセスで効果検証されているのかを確認しました。導入の経緯や目的、具体的な評価プロセスを尋ねましたが、制度としてある程度確立された感があり、特段の要望は出ませんでした。評価自体が目的化・形骸化することのないよう、議員として評価に関する公表資料は引き続きしっかりと精査してまいります。

本年6月に供用開始となった**チェルSeaみうら**については、多くの市民の方から期待も含め、厳しいご意見をいただいております。公民連携に対する行政の姿勢を確認しつつ、整備プロセスの問題提起を含め、市民の方から頂戴した意見をもとに具体的な改善を要望しました。個人的に一番気になっていたキッズスペースの拡充を含め、現状の不満への対応については前向きな答弁が引き出せたこと認識していますので、今後の是正に期待したいと思います。



PFI方式で整備された  
チェルSeaみうら

確かに公共施設の整備におけるPFI方式をはじめとした公民連携は、適切に運用が行われれば大きなポテンシャルを秘めています。しかしその前提には、行政側の確固たるビジョンと創意工夫が無ければなりません。**公共施設は“市民のためのものである”**という当たり前の原点にもう一度立ち返り、チェルSeaみうら整備で得られたPFI方式の経験が今後の公民連携事業に存分に活かされることを切に願っています。

### 発言の中での主な要望

#### <チェルSeaみうらに関して>

1. 駐車場料金および配置の是正検討
2. コミュニティ助成事業の後押し

#### <今後の官民連携について>

1. プロポーザル案の公開による透明性の担保
2. チェルSeaみうら整備の検証と改善



上の娘と同様、海南神社でお宮参りを行いました。三浦が大好きなみうらっこに育ってくれますように…